

**12/19 菊池市内の林業研究グループが
(金) 「ふじのわ荘」を慰問**

龍門林業研究グループ（菊川賢一会長）、水源林業研究グループ（平山直継会長）、旭志林業研究グループ（古川孝記会長）の代表が、菊池市養護老人ホーム「ふじのわ荘」を慰問しました。
会員が持ち寄ったお米と椎茸を手渡すと、入所者の皆さんが感謝の言葉を返されていました。



市内の林業研究グループを代表して椎茸を手渡す菊川会長（右）

12/24(水) 旭志中生徒「一人暮らしの方」へ花配布!



お年寄りに育てた花を届ける生徒

旭志中学校の1・2年生の生徒たちが、地元の70歳以上の一人暮らしのお年寄り87人に花を届けました。旭志中学校で毎年恒例となっているもので、同校の生徒たちが9月から育てた花（桜草）は、プランターの中で立派に成長し、中には花芽をつけているものもありました。

当日は、授業終了後、各行政区に分かれ、自治公民館長さんの指導のもと「いつまでもお元気で」などと書いたメッセージを添えて配布しました。初めて参加した生徒は「皆さんに大変喜んでもらって、花を育てた甲斐がありました」と話していました。また、公民館長さんも「皆さんに喜んでもらって大変うれいす」と話していました。

なお、後日、花をもらった皆さんから同校へ電話や手紙で、「毎回、立派な花をいただいてありがとうございます。きれいな花が咲くよう大事に育てたいと思います」「花が大好きなので、とてもうれしいです。孫のつもりで育てます」などの声が寄せられました。

**12/24 平野長寿老人クラブと菊池市建設業協会安全対策委員会が
(水) 「きくち地域美化活動功労者表彰」を受賞**

平野長寿老人クラブ（岩下 健会長・44人）と菊池市建設業協会安全対策委員会（土本勝洋委員長・12人）が、菊池地域振興局長より「きくち地域美化活動功労者表彰」として表彰され、同局で表彰式が行われました。この賞は、同局が平成20年度から始めたもので、今回の2団体が第1号の受賞となりました。

平野長寿老人クラブは、県道熊本菊鹿線（平野区内）の植樹帯に季節ごとの花を植えるなどの活動が評価されました。岩下会長は「この活動を通して会員の繋がりができ、コミュニケーションの場にもなっています。今回の受賞を励みに今後も頑張っていきます」と話されました。

菊池市建設業協会安全対策委員会は、市内一円において行っている違反広告物の除去活動などが評価されました。土本委員長は「思いがけない受賞でうれしく思っています。この活動を通してマナーが向上し、違反広告物も少なくなってきました。今後は、付随する活動を行っていきたいです」と話されました。

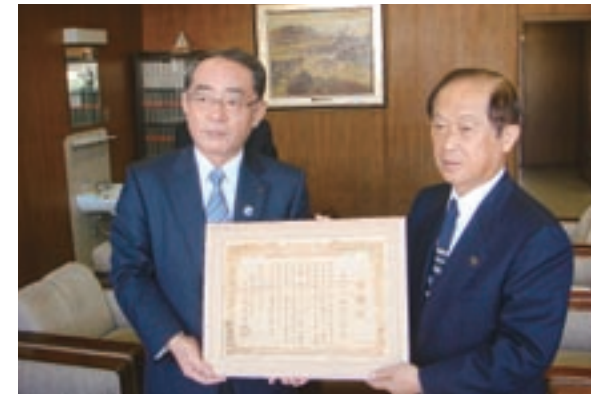


表彰式に参加した平野長寿老人クラブ（前列左から3人）と菊池市建設業協会安全対策委員会（前列右から3人）のメンバー

**12/16 菊池市に大分県ボート協会より
(火) 感謝状**

大分県ボート協会（佐藤陽一会長・日田市長）より、福村市長に感謝状が贈られました。この感謝状は、10月に開催された「チャレンジ! おおいた国体ボート競技会」において、市民などの協力に対して贈られたものです。

佐藤会長は「今後も菊池市と日田市の交流のために、両市の市民ボート大会などで、交流をしたいですね」と話されました。



感謝状を手にする佐藤会長（左）と福村市長（右）

**12/19 (株)山田製作所が
(金) 菊池市に草刈り機を寄贈**



目録を読み上げる上土井工場長（一番右）



寄贈された草刈り機2台

菊池市旭志川辺にある二輪・汎用部品メーカーの（株）山田製作所熊本事業部（内田忠晴事業部長）から、菊池市に草刈り機2台が寄贈さ

れました。贈られた備品は総務課が管理し、作業用として幅広く活用されます。

菊池市役所玄関前であった贈呈式には関係者など約30人が出席し、上土井聖也工場長が目録を読み上げました。寄贈、ありがとうございました。

**12/19 菊池北小と福岡県菊池小の
(金) 赤米を通じた交流**

菊池北小学校（倉原久義校長）の児童と、福岡県大刀洗町の菊池小の6年生児童73人が、赤米を通じた交流を行いました。

平成18年度卒業の6年生が、福岡県に「菊池小学校」というところがあり、大刀洗町が菊池武光奮戦の地であることに由来すると知り交流が始まりました。平成19年11月には、菊池北小の児童が菊池小を訪れ、菊池市から持参した「菊池ふるさとかるた」を使った交流などをしました。その際、「友情の赤米」として贈られた種もみを、昨年、菊池北小の5年生児童が学校近くの水田に植え、自然農法でこれまで育ててきました。

菊池北小の体育館で行われた交流会では、菊池北小の児童が雅楽や狂言、種もみから育てた赤米の観察記録の発表をし、菊池小の児童が大刀洗の町名の由来や太平洋戦争の歴史を劇などで発表しました。昼食会では「友情の赤米」ご飯と、菊池の名物「武光公鍋」を食べながら、さらに交流を深めました。児童たちは「大刀洗の歴史が良く分かりました。みんなと話しながら食べるので楽しいです。これからも手紙を送るなどして交流を続けていきたいです」と話してくれました。



友情の赤米を食べながら交流する児童



昨年10月24日（金）には学校近くの水田で5年生約50人と保護者などが参加して、これまで育ててきた赤米の稲刈りが行われ、児童たちは一株一株、丁寧に刈り取りました